



そば切り踊り(吾平町麓)



山宮神社の春祭りに伴う芸能
(串良町細山田)



田の神舞(南町)



鉦踊り(王子町)



八月踊り(被川町)



下平房棒踊り(輝北町平房)

伝統芸能を知ろう。

伝統芸能とは、五穀豊穡や家内安全などを祈願して行われるもので、市内にも多数継承されています。

本来は、集落の青壮年が踊り子を務めるなど、地域活性の原動力として行われてきましたが、昨今の高齢化や余暇の多様化に伴って、踊り子の確保が困難となっている団体が多くなってきたようです。

そこで、地域の子どもたちへ踊りを伝承するなど対応している団体も多くなってきたおり、世代を超えて継承に取り組んでいます。

ここでは、市内に残されている様々な民俗芸能を紹介いたします。それぞれにいろいろな特徴や想いがあり、地域で大切に守り継がれています。

そんな民俗芸能を見たり、体験してみたいか、かき引かきつとふるさと鹿屋をもっと好きになることしましょう。

【問い合わせ】

市文化財センター

☎0994-311167

棒踊り

市内全域に伝わっており、江戸時代の終わりと頃から踊り始めました。

例年地域の神社などに五穀豊穡や家内安全などを祈念し、奉納します。

6尺や3尺の棒(地域によつては棒の先に鎌をつけたります)を持ち、棒を打ち合います。

また、虚無僧の格好や頭に頭巾を被ったり、踊りの唄など、地域によつて違いがあります。



▲大始良西方棒踊り
(大始良町)

八月踊り

被川地区や吾平町・串良町に伝わっています。例年、米の収穫の終わる十月頃に、地域の水神などに豊作の感謝と来年の豊作を祈って奉納します。

鉦踊り

鉦を打ち鳴らす踊りで、昔は市内各地で見ることができ

伝統芸能の魅力

鹿屋市文化会館
館長 松永 太郎 さん



昨年の夏、私は念願であった「越中おわら風の盆」を見るため富山を訪れました。

吹き出す汗をぬぐいながら石畳の坂を登っていくと、哀愁漂う胡弓の音色が聞こえてきます。そして人だかりの向こうでは編み笠を深くかぶった浴衣姿の女性たちが、しっとりと優雅に舞っていました。私はその美しさに魅了されると同時に、日本人であることの誇らしさが体の内部からふつふつとあふれ出してきました。

伝統芸能は、私たちの精神と地域とがつながっていることを再確認させてくれます。人は自分の生まれる場所を選べませんが、故郷を愛することで誇りを持って成長できます。ぜひあなたの地域の伝統芸能に目を向けてみてください。自身のルーツを確認することで、また違った故郷の景色が見えてくるはずです。



市内の

主な伝統芸能

※年表では、市内の伝統芸能の一部を紹介します。

2月

かき引き

(中津神社・上高隈町)

重田・高隈中央棒踊り

(中津神社・上高隈町)

しか祭り

(七狩長田貫神社・田崎町)

お田植え祭り

(七狩長田貫神社・田崎町)

春祭りに伴う芸能

(山宮神社・串良町細山田)

棒踊り

(串良町内各地)

3月

平房地区棒踊り

(石牟礼神社・輝北町平房)

被川地区棒踊り

(瀬戸山神社・上被川町)

7月

かまん手踊り

(吾平天神・天神町)

8月

高須町祇園祭刀舞

(波ノ上神社・高須町)

9月

棒踊り

(名貫町)

10月

王子町・光同寺鉦踊り

(和井井堰公園・打馬2丁目)

被川町八月踊り

(上被川町)

田の神舞

(年貫神社・南町)

朝倉太鼓踊り

(輝北町諏訪原)

柏木棒踊り

(輝北町諏訪原)

11月

大始良西方棒踊り

(岩戸神社・大始良町)

吾平町八月踊り

持田棒踊り

そば切り踊り

(吾平町文化祭・吾平町麓)

